

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆4割の企業が「夏季賞与増額」 平均は47万円、帝国データ調べ

・帝国データバンクが発表した「2026年夏季賞与の動向アンケート」によると、26年の夏季賞与を増額した企業は約4割。平均支給額は前年に比べ1万8000円多い47万7000円だった。26年の夏季賞与を「賞与はあり、増加する」と答えた企業は、前年比3ポイント増え37%に。「賞与はあるが、減少する」は11%。「賞与はない」も11%あった。

◆大企業の4～6月景況感、4四半期ぶりマイナス 中東混迷響く

・内閣府と財務省が発表した4～6月期の法人企業景況予測調査によると、大企業全産業の景況判断指数(BSI)はマイナス0.5。4四半期ぶりのマイナス。中東混迷による原油高などが影響。4～6月期の大企業製造業はマイナス1.8と4四半期ぶりのマイナスとなった。1～3月期はプラス9.6だった自動車・同付属品製造業が今回はマイナス19.4だった。

◆エルニーニョ現象、2年ぶり発生 異常気象の一因

・気象庁は南米ペルー沖から西の海域にかけて海面水温が高い状態が続く「エルニーニョ現象」が発生したとみられると発表。世界的な異常気象の一因とされ、発生は2023年春～24年春以来2年ぶり。専門家は、さらに温度が上がる「スーパーエルニーニョ現象」に発展する可能性があるとは指摘している。今夏は気温が高くなると予想される。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆CO2地下貯留に新支援策 27年度から建設費75%まで補助、経産省検討

・経済産業省は二酸化炭素を回収して地下に封じ込める事業への新たな資金援助策を検討。2027年度に新設し、施設建設費の75%を上限に事業開始前から支援。CO2の排出削減が難しい産業の脱炭素を後押しする。CO2の地下貯留は実用化前の技術で、企業が資金を借り入れる際はリスクに応じた金利の上乗せが生じやすい。

◆熱中症対策で夏季休工 東京都の土木工事、工期や費用を協議し変更

・東京都は建設現場における夏季の新たな熱中症対策として、都発注の土木工事を対象に、受注者が希望すれば7～8月に一斉休工できるようにする。舗装工事では小刻みな休憩を取りやすくする。受注者は休工や休憩に必要な工期延長や費用計上を発注者と協議の上、契約を変更できる。

◆鉄筋が1年3カ月ぶり高値 中東発の原燃料高、転嫁には時間

・マンションなどに使う鉄筋(異形棒鋼)の国内取引価格が一段と上昇し、1年3カ月ぶりの高値となった。主原料となる鉄スクラップの高騰に加え、中東危機を受けたエネルギー高でメーカーの採算が悪化。値上げの要請をゼネコンなどが時間差で受け入れている。

《 注目商品 》

■耐荷重4.5t、実用性+デザイン性を備えたガーデンパン

・水生活製作所は、実用性とデザイン性を両立させた立水栓用ガーデンパン「ラウンドパン 深型」を発売。外側側面はふくらみのある曲線で内側底面は排水口に向かってゆるやかに傾斜。さらに下部に立ち上がりをつけ、デザイン性・実用性・清掃性・メンテナンス性を備えた。



■「みらいエコ住宅事業」リフォーム工事向けチラシを配布

・「住宅省エネ2026キャンペーン」事務局は「みらいエコ住宅2026事業(リフォーム)」の周知チラシの配布を開始。同キャンペーンのツールダウンロードページから入手できる。同チラシでは、補助金を活用するためのポイントを紹介している。



■シャープ、プラズマクラスター空気清浄機「Purefit」

・さまざまなシーンに“フィット”する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機「Purefit(ピュアフィット)」シリーズのリビング向け新製品を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用し、広い吸い込み面積を確保。

